

2019-2020 ガバナー月信 GOVERNOR'S Monthly Letter

3



函館大学

ローターアクトクラブ



室蘭北

ローターアクトクラブ



赤平

ローターアクトクラブ



千歳

ローターアクトクラブ



札幌幌南

ローターアクトクラブ



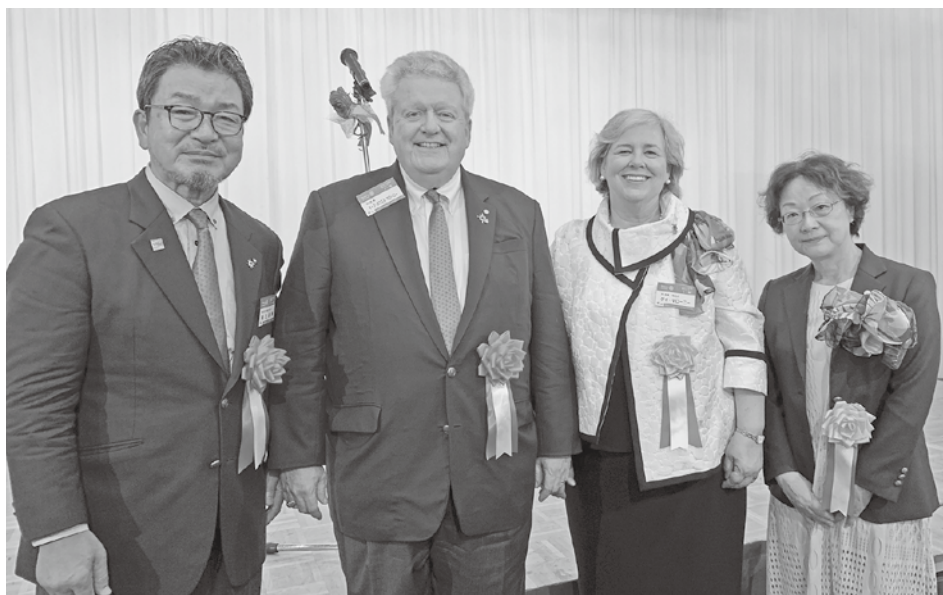
ロータリーは
世界をつなぐ

国際ロータリー第2510地区 2019～2020年度ガバナー 福田 武 男

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail : rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2019-2020年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」



国際ロータリー第2510地区 2019-2020年度地区目標

—自分を見つめ直し、若者を支援し、ロータリーの未来を語ろう—

1. みんなで手をとってクラブを強化しよう

- ① 既存会員の維持と、地域の職業分類を調査・活用して更なる会員増強を推進し、クラブ会員の後継者を含めた若者たちへ向けて「ロータリー衛星クラブ」の設立を推奨し、ロータリーを成長させる。
- ② 女性会員や40歳未満の会員の入会を特に推進し、RAC全国研修会に向けてRACの拡大・増強を支援する。
- ③ ロータリー理解推進のため「ガバナー月信」を充実させ、ホームページをアップグレードし、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進し、広報活動を推進する。

2. ロータリー財団へ寄付推進し、フルに活用しよう

- ① ロータリー財団への寄付を推進すると共に、クラブでは本年度特別に使用できる分も含めてDDFを十分に活用し、グローバル補助金も視野に地域社会および海外でのプロジェクトが増加するよう支援する。
- ② 「世界ポリオデー」には、世界のポリオ撲滅でWHOなどと共にロータリーが果たしている役割を広く地域に伝えるよう各クラブに奨励する。
- ③ 財団への年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、恒久基金においても2025年までに20億2500万ドルへ成長するよう支援していく。

3. ローターアクターなど若者や新会員を支援しよう

- ① クラブに入会して5年以内の会員を対象に「新会員交流会」を開催し、ロータリーへの理解を深めてもらう。
- ② 米山記念奨学会への寄付の増進を図ると共に、この制度が地区内すべてのクラブにより一層理解され、また奨学生が卒業日本との架け橋になれるように支援する。
- ③ クラブには「クラブ研修リーダー」の設置を奨励するとともに、積極的にロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) セミナーに参加してもらい、RLIセミナーがこれからの「ロータリーの学びの場」となるよう認識を広めていく。

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●米山奨学生ご紹介	14
●RI 会長メッセージ	4	●新会員のご紹介/訃報/ポール・ハリス語録	15
●国際協議会報告	5	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付/ロータリー文庫	16
●2019-2020年度「タイ・カンボジア検証ツアー」の報告	6	●ハイライトよねやま	17
●『ローターアクトを卒業して思うこと』	8	●ロータリーコーディネーターNEWS	18
●第9グループ第48回インターシティミーティング開催～日本遺産「炭鉄港」の活用策を学ぶ～	9	●地区カレンダー(3月・4月)/ロータリーレート	19
●小樽南ロータリークラブ創立60周年記念式典を開催して	10	●出席率・会員数(1月)	20
●ガバナー公式訪問報告	11	●職業奉仕小話	21
●ロータリーの本No.9	13	●クラブ活動 写真集(第6グループ 第7グループ 第9グループ)	

全てのロータリアンの心を一つにして

国際ロータリー第2510地区

2019-2020年度ガバナー **福田 武男**

(千歳RC)

会長・幹事の皆さん、残された期間はあと僅かです。ロータリーは常に6ヶ月の前倒しで進んでいきますので、正にもうすぐ次年度とのバトンタッチの時期となります。すなわち例年ですと、各クラブのガバナー公式訪問も終え、地区大会もガバナー補佐会議もほぼ終わり、後はガバナー補佐の最も大きな事業であるインターシティーミーティング(IM)に、或いは周年事業年度に当たるクラブではその式典開催の準備に集中し、ようやくもう少しと・・・最後の仕上げにかかろうかという時期ではありますが、今年は残念ながらそうは参りません。

2019年末、揚子江中流に位置し昔から内陸水運の拠点として栄えている武漢市において、新型コロナウイルス(COVID-19)が発生し、その勢いは未だに止まることなく世界中に広がり続けております。特に日本では過日のさっぽろ雪まつりが原因なのか、現在北海道の感染者が最も多い(127人)状態で、ワクチンの開発には1年以上かかるとのこと。国内感染者は1400人を超え、亡くなった方も28人を数え(道内4人)、また潜伏期間が2週間前後と一定せず長いこと、潜伏期間中で症状の無い人も感染力はあり、感染して治療により陰性になっても再発するケース(再燃)などもあり、日本中だけでなく現在では世界中が不安と混乱の状態にあります。

これに対して、北海道の鈴木直道知事は道民に対し2月末に緊急事態宣言を出し、3月いっぱいの小中学校の休校や、道民に対して少なくとも3月1

～2週間は不要・不急の外出を控えるように要請しました。また安倍晋三首相も急遽決断し、全国の小中高に対して3月中は休校にするように強く要請しております。

しかしながらその結果、地域社会や学校関係では混乱も生じているようで、ホテル業界や飲食店業界は大きな打撃を受けており、未だに終息の見通しが立たず、株式市場も大きく暴落しており、今後多くの倒産が起きるのではないかと誰しもが危惧しているところであります。

また、今夏のオリンピック・パラリンピックを目前にして、果たして無事開催できるのだろうか、延期するだろうか、或いは中止ということもあり得るだろうか、もしかしたらこれが引き金になってリーマンショック並みの大不況に突入するのではないのか誰でもが不安に駆られております。

ロータリーにおいても例外ではありません。クラスター(集団)感染を防ぐために各グループのIM、クラブの周年記念式典、講演会、歓送迎会、地区委員会、そしてロータリーで義務と規定されている「会長エレクト研修会セミナー(PETS)」、「地区研修・協議会」まで、3～4月のロータリーのプログラムは殆どが中止或いは延期となっております。

このような時、我々ロータリアンはどのような行動をすれば良いのでしょうか。ロータリーでは基本的に、国や地元保健当局の指示に従うことが要請されております(ロータリー章典2条8項一国法の

遵守)。

自分たちの地域社会でどのような行動をするのが良いのか、軽挙妄動をつつしみ、何をすべきか、何をすべきではないかをじっくり考えて、ロータリアンらしい発言と行動をしていきたいと思ひます。

【福井年度を支援しましょう】

今年度の我々にできること、しなければならぬことは、次の福井年度に向けて、できるだけサポートをすることです。

次年度の会長・幹事、そしてガバナー補佐の皆さんへ……

- (1) 各クラブでは会長・幹事の皆さんは、次年度の会長エレクト、次年度幹事を支援しましょう。クラブ活動の中で、今年度思った以上に上手くできたことでは、原因は何でしたでしょうか。また思うようにできなかったことでは、何故できなかったのかなど、できるだけ多くの情報を次年度の会長・幹事へ伝えるようにしましょう。きっと次年度の活動の役に立つと思ひます。
- (2) ガバナー補佐の皆さんは、今年度で得たクラブの情報をできるだけ次期ガバナー補佐の皆さんに伝えましょう。次期ガバナー補佐の皆さんにとっては、就任する数ヶ月前である今が最も大切でかつ忙しいのです。そして、最後の「会長・幹事会」には、是非次期ガバナー補佐、そして次年度の会長・幹事の皆さんもお呼びして、情報交換をしっかりと行い引き継ぎを行なって下さい。
- (3) 次々年度のガバナー補佐候補者の候補が既に上がっているようなら、その情報を伝えましょう。遅くとも9月までに、次々年度のガバナー補佐候補者を選考するのが良いでしょう。クラブ会長は決定してからその就任まで1年半以上あります

が、ガバナー補佐の場合は就任までその準備期間が半年程度では少なすぎるでしょう。

- (4) 地区で活躍して頂けそうな会員がいれば、次年度ガバナー補佐に紹介しましょう。地区内のクラブからできるだけ多くの会員が地区委員会活動に参加することは各クラブの活性化の一助になり、ロータリーの発展にもつながります。
- (5) 今年度のマローニー会長のRIテーマは、『ロータリーは世界をつなぐ』でした。前年度のバリー・ラシン会長のRIテーマは、『インスピレーションになろう』、そして次年度のホルガー・クナーク会長のRIテーマは、『ロータリーは機会の扉を開く』です。

このように、ここ数年の国際ロータリーのテーマは毎年バラバラではなく完全に繋がっていて一貫性があります。

特に次年度は記念すべき年度とはいえ大変な時期を迎えようとしております。皆さんも直前の会長・幹事、そして直前ガバナー補佐として、次年度のリーダーの皆さんをできる限りサポートしていきましょう。

3月は「水と衛生月間」

さて3月は「水と衛生月間」です。今年も1月29日から2月3日まで、国際奉仕・VTT委員会の事業として、谷口正樹委員長をリーダーとし小山司直前ガバナーを団長として総勢22名で、「タイ・カンボジア検証ツアー」が実施されました。

タイでの水事業は既に20年を超えるということで、これまでに支援してきた14クラブの皆さん、地区委員会の皆さんに敬意を表したいと思ひます。(留萌RC、砂川RC、滝川RC、江別西RC、札幌RC、札幌はなますRC、札幌北RC、札幌手稲RC、札幌東

RC、新札幌RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳セントラルRC、三石RC)

詳しくは、今月のガバナー月信7ページ、谷口正樹地区国際奉仕・VTT委員長からの報告をご覧ください。

3月は「世界ローターアクト週間」

1968年3月13日、米国ノースカロライナ州でノースシャーロットRCをスポンサーとしてノースシャーロットRACが世界で初めて設立されました。ロータリーではこれを記念して、毎年「3月13日」を含む月曜から日曜日までの1週間を、「ローターアクト週間」と定めております。

2019年4月の規定審議会では、ローターアクトラーにとっては歴史的に大変重要な変更が採択されました。

「制定案19-72 ローターアクトクラブにRI加盟を認める件」

その結果・・・

- (1) 2020年7月1日から、世界の10,192クラブ全てのローターアクトクラブは、国際ロータリーに自動的に加盟することになります。
- (2) RACの設立時にRIに支払う50ドルの認定料が廃止されました。
- (3) 2020年7月1日から、会員の同意とスポンサークラブの同意のもと、RACは対象がYoung Adultということですが、年齢の上限を定めることができる一方で、これを義務化しないことになりました。
- (4) RACがRIに加盟することになりましたので、

2022年7月から、すなわち石丸修太郎年度から、ローターアクトはRIの人頭分担金を支払うこととなります。

人頭分担金は、社会人;8ドル/年、大学生;5ドル/年

- (5) RACに関することはすべて、RI理事会で決定することになりました。ローターアクト標準定款・細則、人頭分担金の額など、ロータリーのように規定審議会の承認は不要になります。
- (6) RACの提唱クラブは今後、継続しても良いし、或いはRACは提唱クラブを持たなくても良いことになりました。
- (7) RACは他のRACを提唱することができることになりました。
- (8) RIは地区の全ての委員会に、ローターアクトラーを加えることを地区に強く奨励されることになりました。

以上のように世界のローターアクトクラブは現在、激しい変革の中に巻き込まれていきつつあります。確かにロータリーを更に発展させていくには、間違いなく若い世代を巻き込んでいく必要はあるのでしょうか。果たしてこの選択が功を奏するのでしょうか。また将来、国際ロータリーの選択は果たして正しかったと評価される時が来るのか、世界中の多くのロータリアンが期待と不安の中で、見守っていくことになるでしょう。





新型コロナウイルス流行期における ロータリー活動について

2019-2020年度国際ロータリー

会長 **マーク・ダニエル・マローニー**

朋友ロータリアンの皆さま

ロータリーでは、会員の皆さまの健康と安全を最優先し、新型コロナウイルス(COVID-19)の状況をモニタリングしながら、ロータリーの運営、研修セミナー、各種行事に与える影響を継続的に注視しています。

状況が刻々と変わるため、クラブと地区の会合や行事、ロータリーのプログラムと活動については、皆さまが各自で判断されることを奨励いたします。会合やロータリー関連の旅行は、中止または延期するのが最善かもしれません。予定通りに行事が開催される場合でも、欠席を選ぶ人もいるでしょう。もちろん、世界保健機関(WHO)および皆さまの国または地元保健当局がウイルス拡散防止のために集会や旅行の中止・延期を勧告したり、禁じたりした場合には、その勧告に従ってください。

新型コロナウイルスの影響に関するロータリーの最新情報と最新の旅行ガイドラインをロータリーのウェブサイトでご確認ください。

地域社会のリーダーである皆さまには、現在の地域社会のニーズを考え、援助を提供することを奨励いたします。地元保健当局に連絡し、コロナウイルス発生への準備や対応のためにロータリークラブに何ができるかをご検討ください。

皆さまとご家族、ならびに全ロータリーファミリーの皆さんの健康と安全を心よりお祈りしております。
心を込めて

◎新型コロナウイルスの影響に関するロータリーの最新情報

ロータリーではコロナウイルスの状況をモニタリングしており、ロータリーの運営、行事、研修セミナー等への影響の可能性を引き続き注視しています。

2020年3月3日に更新 — 感染者数が世界的に増えていることを受け、ロータリーは、会員とプログラム参加者の健康と安全を守るため、会員と参加者が世界保健機関(WHO)および各国の保健当局のガイドラインに従うことを推奨しています。勧告されている場合、直接集まる会合は延期または中止とするか、オンライン会議または電話会議として行ってください。旅行に関する勧告が出ている場合、地区またはクラブの用事での旅行の際には細心の注意を払ってください。グローバル補助金と関連する旅行について質問がある場合は、地域別の補助金担当職員にご連絡ください。

2020年2月27日 — 6月6～10日に米国ハワイのホノルルで行われるロータリー国際大会に関して、現時点で特に変更はありません。国際ロータリーは世界保健機関(WHO)の勧告に従っており、WHOは最近の声明で「現在入手可能な情報に基づき、旅行や貿易の制限を推奨しない」としています。

ロータリーは今後もウイルスの状況を注視し、WHO、米国国務省、米国疾病対策センター(CDC)による勧告に従い、必要に応じてロータリー国際大会の計画を調整していきます。ロータリーは出席者の健康と安全を最優先し、出席者を保護するために必要なあらゆる予防措置を講じます。

今後も大会ウェブサイト、国際大会ニュースレター、Eメールで最新情報をお伝えしてまいります。

旅行予定国が認められているかどうかを旅行禁止国のリスト(英語)でご確認ください。



国際協議会報告

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **福井 敬悟**

(札幌手稲RC)

米国サンディエゴで、1月19日から24日迄開催された「国際協議会」に参加して27日無事に帰ってきました。

国際協議会は、以前はアナハイムで行われ、塚原パストガバナーが最後の研修ガバナーで、丸山パストガバナーがサンディエゴ最初の研修ガバナー、そして私がサンディエゴ研修最後のガバナーとなります。次年度からは、ディズニーで有名なフロリダ、オーランドに場所が移ります。

私共は、17日成田からサンディエゴ直行便で、余裕を持って現地入りをしました。滞在中は、天候に恵まれ、素晴らしい朝日を見る事が出来ましたが、日中は休憩時間に窓越しに、またはベランダで素晴らしい景色を眺めるだけです。各プログラム、研修は窓のない部屋で行われました。

19日夜は、歓迎レセプションが行われ、いよいよ20日開会の本会議に於いてホルガー・クナークRI次期会長から、テーマ「Rotary Opens Opportunities」 「ロータリーは機会の扉を開く」が発表されました。

テーマに関する説明は紙面の関係から割愛させていただきますが、2020～21年度RI会長テーマは、非常に共感が持て、素晴らしいテーマと思っています。これからの地区での研修セミナーで、地区目標と共にアピールしていきたいと思っています。

ホルガー・クナーク2020-21年度RI会長、E. ジョーンズ国際協議会モデレーターからのメッセージとして「1週間にわたるこの研修の開始にあたり、ここで学ぶこと、体験することのすべてが、地区ガバナーになるための準備であることをお忘れのないようお願いいたします。また、この1週間で築いた関係から、プロジェクトでのパートナーシップや交換活動が生まれる可能性もあるでしょう。真に国際的な体験であるこの協議会では、ほかの国の方々と一緒に分科会に参加し、本会議でさまざまな言語での講演をお聴きいただけます。分科会、昼食、晩餐会など、あらゆる機会にガバナーエレクトの仲間と知り合い、アイデアを交換し、新しい知識や情報を得て頂ける事を願っております……」とま

さにメッセージ通りの日程で、9時～17時までの研修プログラム、そしてその後の地域チーム夕食会、国際晩餐舞踏会、各国の祭りの夕べ、最終日のロータリーファミリー祝賀夕食会と、朝から夜の22時頃まで、本当にロータリー漬けの日々を過ごしました。日本からの山崎淳一、鈴木一作、水野功研修リーダーには深く感謝申し上げます。

1月22日の夜だけが自由な夕食でしたが、恒例により日本からの34地区ガバナーエレクトと一緒に日本食での夕食会が行われ、私事ですが1月21日の私の誕生日をサプライズでお祝いをして頂きました。71歳の誕生日をまさかサンディエゴで祝って頂くとは、想像もしていなかった事でした。

心新たに、2020～21年度ガバナーとして、地区クラブのサポート役としてOpportunityを大切に目標達成の準備を進めて参ります。

皆様の益々のご活躍、ご協力をお願い申し上げます。報告とさせていただきます。





2019-2020年度 「タイ・カンボジア検証ツアー」の報告

地区国際奉仕・VTT委員会

委員長 谷口正樹

(滝川RC)

日頃より地区国際奉仕活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度の国際奉仕・VTT委員会としての事業検証ため2020年1月29日から2月3日の日程で、小山司パストガバナーを団長にメンバー22名で今年度RI第2510地区内事業実施地域を訪問してきましたので、その報告をいたします。

1月29日、新千歳空港からタイ・バンコク国際空港で、国内線を乗り継ぎしてウドンターニー国際空港に到着、第3340地区ロータリアンの熱い歓迎を受けウドンターニ市内のホテルにて、明日からの強行日程に備えてゆっくり宿泊ができました。

翌30日、9カ所の事業を訪問するため早朝、バスにて事業実施地であるブンカーン県へ向け出発し、2時間程度の移動となりました。

1. クリーンウォーター事業(浄水器設置事業)
実施校「Siripat Wittaya School」
事業主催 江別西RC、札幌RC、札幌東RC、三石RC 4クラブ共催
2. クリーンウォーター事業(浄水器設置事業)
実施校「Ban Nong Bua School」
事業主催 留萌RC、砂川RC、滝川RC、小樽銭函RC、余市RC 5クラブ共催
3. クリーンウォーター事業(浄水器設置事業)
実施校「Ban Nong Yang school」
事業主催 札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌手稲RC、新札幌RC、千歳セントラルRC 5クラブ共催
4. 図書館事業
実施校「Ban Nong Bua School」
事業主催 羽幌RC、江別RC、札幌南RC 3クラブ共催
5. 財団グローバル補助金(GG1871293)「水と衛生」事業
実施校「Ban Nadong school」
事業主催 第2510地区、第3340地区

6. 図書館事業
実施校「Ban Lao Tangkam school」
事業主催 室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC 3クラブ共催
7. 図書館事業
実施校「Ban Huay Nam Yan school」
事業主催 様似RC、静内RC、函館RC 3クラブ共催
8. 奨学金事業
実施校「Royal King school」
事業主催 札幌手稲RC、静内RC 2クラブ共催
財団補助金(GG1524894)「タイ貧困学生のための職業訓練事業」展開中の学校
9. 奨学金事業
実施校「Nongkai Vocational College」
事業主催 滝川RC、札幌清田RC、苫小牧北RC 3クラブ共催
職業訓練事業(VTT事業) デザイン制作・前地区補助金事業実施校
全員が9カ所すべての検証を終えるには、時間がタイトで現地小学校を訪問時、子供たちと十分に触れ合える時間が取れなかった事は残念でしたが、予定通りブンカーン県、ポンピサイ県、ノンカイ県での検証を終わらせ、ノンカイ市内のホテルに着き、その夜にRI第3340地区のガバナー主催の夕食会に出席し、第3340地区メンバーと懇親を深めました。
翌31日は、ノンカイ市にある職業訓練実施校にてタイ国内最後の事業検証として奨学金事業
実施校「Nongkhai Boy's Home」
事業主催 札幌手稲RC 単独共催
最後の検証を終え、第3340地区メンバーの見送りを受け、ウドンターニー国際空港からバンコク国際空港へ乗り継ぎカンボジアのプノンペンへ向け移動となりました。プノンペン国際空港着後、直ちにホテルでチェックインし、明日からの未踏の地

への検証に備え就寝しました。

翌2月1日はプノンペンよりバスで約7時間移動し、ココン県にある「Chamaka Leu School」での「学校環境改善事業」を検証してきました。長年、地区としてお付き合いのある第3350地区バンコク・クロントイRCの協力を受け、プノンペンメトロRC共同でこの事業を地区の国際奉仕事業として、今年度初めて展開した事業です。ひと昔のタイのように、カンボジアにおいても地方の学校まで教育環境が整っていないのが現状です。そこで今年度、今後の地区の国際奉仕事業として繋げていくことが可能かどうかの検証でもありました。

このカンボジアの検証についてはカンボジア国の文部大臣・大臣補佐・大臣通訳の3名も同行していただき、検証してきました。今後については委員会で事業内容等として進めていくことになると考えています。

すべての検証を終え、学校近くのホテルにて最後の夜を過ごし、翌日夜の飛行機でバンコク国際空港より帰国となりました。

ツアー中は大きな事故もなく移動距離が長いにもかかわらず一人を除いて、体調不良を訴える人もなく無事検証ツアーを終えましたことを、参加された皆様に大変感謝し改めてお礼申し上げます。ただ一人、検証中発熱を起こし新型コロナウイルス予防の隔離の可能性がある為、カンボジアへ行くことのできなかったのが委員長である私でした。ツアー参加者の皆様へ改めてお詫び申し上げます。

今年度においては、25のクラブより事業費として合計1,590,000円支出いただき、VTT事業も含めて12事業を展開いたしました。事業に参画いただいたクラブの皆様へ深く感謝いたします。改めて「報告書」を作成し、それを事業の報告とさせていただきます。

最後に、国際奉仕事業については相手側ロータリークラブの信頼の上に成り立っています。今年度も第3340地区・第3350地区の協力があったの事業でありました。彼らへ深く感謝し、今後もこの絆を絶やすことはできないと思っております。なぜならこの地域に暮らす子供たちが私たちロータリアンの奉仕を待っているからです。「きれいな水・多くの本との出会い・整備された学校」から健康な社会人そして国際人に繋がるものと私は信じています。ありがとうございました。

◇2019-2020「タイ・カンボジア検証ツアー」

参加者(敬称略)

小山司PG(札幌RC)・熊澤隆樹PG(小樽RC)・渡辺美代子・高張秀人(札幌手稲RC)・谷川淑郎(余市RC)・光川眞量(札幌はまなすRC)・燕美雪(留萌RC)・出村知佳子・鈴木隆也・斉藤昌一・瀧澤隆之介・吉井千博・サパープクンプーワナット(札幌北RC)・志比川武(蘭越RC)・寺岡秀一・細田克実(江別西RC)・江本勝典(岩見沢RC)・出口弘史(三石RC)・田口廣(千歳セントラルRC)・樺沢哲也(室蘭北RC)・富岡豊(静内RC)・谷口正樹(滝川RC) 以上22名





『ローターアクトを卒業して 思うこと』

赤平ローターアクトクラブOB

石川 樹

皆様、こんにちは。私は2019年6月に赤平ローターアクトクラブを卒業した、石川樹と申します。約8年というローターアクト生活でしたが、在籍中はロータリアンの皆様に大変お世話になりました。

先日、学友交流会・帰国報告会に参加させて頂いた際、福田武男ガバナーから是非ガバナー月信の原稿を書いてほしいとご依頼があり、昨夏以来ではありますが、原稿を書かせて頂いたところです。

ローターアクトを卒業して、もうすぐ1年が経とうとしていますが、振り返ると大変なことや苦労したこともたくさんありましたが、良い思い出の方が色濃く心に残っています。

特に、地区ローターアクト代表を仰せつかった2015～2016年度は、私のローターアクト生活の中で最も充実した1年間でした。私が地区代表時のローターアクトの状況は、これまで積み重ねてきた様々な課題や問題がすべて表面化し、仲間との信用・信頼関係や使命感・責任感が薄れてしまい、すべての活動において支障が出てきてしまった状況でした。

そのような状況下で、仲間との信頼関係を一から作り、すべての言動・活動に根拠を持ち、自らが先頭に立って活動し、「奉仕」と「親睦」を目的とするローターアクト活動に少しでも貢献できるよう努力しました。自己満足かもしれませんが、当時の地区役員や各クラブ、ロータリアンの皆様との関係性、充実した活動、PRも含めてすばらしい団結力と熱意があったように思いますし、当地区ローターアクトの土台を再構築できたと感じています。

また、地区代表年度最後の行事であります地区大会において、地区代表として最後の点鐘が終わった後、参加者の皆様に胴上げをして頂きましたが、この瞬間に「自分のしてきたことが報われた」、「一生懸命頑張ってきてよかった」という達成感に浸ることができました。

このような経験ができるのはローターアクトの醍醐味であり、一社会人として働き、生活するうえで大きな自信になると感じていますので、後輩たちにも苦労することから逃げず、様々なことに挑戦して、このような素晴らしい経験をして頂きたいです。

一方で、在籍中に実現できなかったことも多々ありました。いくつか列挙しますと、

- クラブの新しい活動の実現(特に、地域に根差し、地域を盛り上げるような活動)
- 新規クラブの創立(地区内5クラブは、全国的には少ない方)
- ローターアクターとロータリアンとの関係性の強化(他クラブやロータリークラブとの共同活動)
- 北海道外、海外の各地区ローターアクトとの親睦や情報交換
- 当地区ローターアクトのPR力アップ(SNSやホームページのほかに効果的な媒体)
- 後輩の育成(地区やクラブで中心となる人材育成や経験を積める機会)
- 現在の在籍会員が“したい”と思う活動の実現(伝統に囚われ過ぎず、新しいアイデアも活用)
- 会員増強(現存クラブでも努力し、いわゆる“幽霊会員”をゼロにする)

以上は一部ではありますが、私が考える現在の当地区ローターアクトの課題でもあります。

もちろん、現役のローターアクターが仲間と議論し、より良い活動を模索することが大前提ですが、青少年奉仕が重要視されている昨今でもありますので、ぜひロータリアンの皆様からもローターアクトに対し貴重なアドバイスをいただけると幸いです。ロータリアンの皆様とローターアクターがさらに協力し合うことで、当地区ローターアクトが今以上に活発になることを願っています。



第9グループ第48回インターシティーミーティング開催 ～日本遺産「炭鉄港」の活用策を学ぶ～

第9グループガバナー補佐

荒井孝亘

(室蘭東RC)

令和2年2月2日(日)、第9グループのロータリアンと関係者150名に参加頂き、第48回インターシティーミーティング(以下IM)が盛大に開催されました。

◎開会点鐘の後、芝垣美男IM実行委員長からホストクラブを代表して歓迎の挨拶がありました。演題の「炭鉄港」と第9グループ(伊達・室蘭・登別・洞爺湖)の6クラブとのかかわりを詳しく解説がありました。またIMの歴史が「ロータリー活動」と「親睦」に重要な行事でありますと語り掛けられました。セレモニー(フルートとピアノ演奏)に室蘭東RC幹事堺俊光会員のお嬢さんに出演を依頼、お父さんのロータリー活動に協力する事でご家族にもロータリーを理解して頂けたと思います。続いてガバナー福田武男様、室蘭市長青山剛様から祝辞を頂きました。

◎基調講演には、札幌国際大学教授吉岡宏高様をお迎えして、2019年5月20日に日本遺産に認定された「日本遺産 炭鉄港～あるものを活かし、ないことを創る」をテーマに90分のご講演を頂きました。吉岡教授は炭鉱の町赤平のご出身であり、25年以前から室蘭の鉄鋼、空知の炭鉱遺産そして室蘭港・小樽港と産炭地を結ぶ鉄道網を研究され、産業遺産の活用策を活かす方法を考えてきました。また一方、室蘭の街づくりに深く携わってきました。特に人口減少で苦慮していました室蘭市輪西町(輪西商店街)は吉岡教授の指導によって変革した一例です。吉岡教授とお付き合いする中で違う視点から見

つめ直すことができ、それによって新しい発想が生まれました。

結びに、吉岡教授はNPO法人「炭鉱の記憶推進事業団」の理事長として、また「夕張市石炭博物館」の指定管理者でもあります。夕張市石炭博物館は2019年4月18日に模擬坑道火災によって営業休止していましたが、昨年6月8日から再開しましたので是非足を運んで頂きたいとPRをされ終了しました。

◎講演後懇親会を開催、遠藤秀雄パストガバナーの乾杯の音頭でスタートしました。セレモニーに札幌出身で東京藝術大学4年堺日和さんのフルートと谷敷かなえさんのピアノによる素晴らしい演奏に皆さん満足の様子でした。

散会の後、福田ガバナーはじめ、室蘭出身で第一グループ加藤隆一ガバナー補佐、青山室蘭市長にご講演を頂きました吉岡教授を交えてご苦労さん会を開き、大いに語り合いました。

御尽力頂きました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



素晴らしい演奏の堺日和さんと谷敷かなえさん



基調講演の吉岡宏高教授



来賓挨拶の福田武男ガバナー



ご苦労さん会



小樽南ロータリークラブ 創立60周年記念式典を開催して

小樽南ロータリークラブ
会長 小笠原 俊介

令和2年2月8日(土)、小樽南ロータリークラブは、グランドパーク小樽において創立60周年記念式典を開催しました。

小樽南ロータリークラブは、1960(昭和35)年2月5日に創立し、同年2月12日に国際ロータリーの加盟承認をいただき、国内で353番目、北海道内で30番目のロータリークラブとして誕生しました。創立にあたっては、小樽ロータリークラブがスポンサークラブとなり、22名のチャーターメンバーをもってスタートし、今日に至っております。

記念式典には迫俊哉小樽市長、山本秀明小樽商工会議所会頭、国際ロータリー第2510地区福田武男ガバナーをはじめとする地区内外のご来賓、ロータリアンの皆様、私共の姉妹クラブであります酒田ロータリークラブ、友好クラブであります横浜中ロータリークラブ、鹿児島ロータリークラブの皆様、スポンサークラブであります小樽ロータリークラブの皆様をはじめ、地区第6グループのロータリアンの皆様、総勢170名に出席いただき、盛会裏に終え

ることができました。

当クラブは創立以来、ロータリークラブの基本理念である「奉仕の理念を奨励し、これを育む」ものと、奉仕活動に努めてきたところです。今年度につきましては、創立60周年記念ということもあり、その一環として、脳科学者である茂木健一郎氏による市民向け講演会「脳科学とは」を開催、さらに小樽市に対し、青少年の育成に役立てていただきたく、市立小樽図書館への寄付をさせていただきました。その他、当クラブでは創立当初より青少年奉仕に力を入れてきたことから、小樽市内優秀高校生卒業生表彰、小樽商科大学留学生への支援、小樽子どものポエムコンクール協賛、ブックスタート補助、米山奨学生支援などの事業を行い、地域の皆様とともに歩んできたところです。今後は、60周年を契機に、これらの事業の継続はもちろんのこと、ロータリーの「奉仕の心」を愚直なまでに育んでいき、新たな奉仕活動を実践しながら、地域の皆様とともに歩んでいく所存です。



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

江別西ロータリークラブ

7/16 火

7月16日(火)、福田武男ガバナー、第3グループ伊澤珠樹ガバナー補佐、坂口賢一ガバナー補佐幹事をお迎えして、江別市民会館にて公式訪問が開催されました。

10時から会長・幹事懇談会を行い、引き続き11時からクラブ協議会が行われ、各委員会より今年度の鈴木良二会長の下での各活動計画を説明させて頂きました。その後、福田ガバナーの講評を頂き、RIの説明並びにガバナーとしての地区目標をお聞かせ頂き、当クラブの会員増強についてお褒めの言葉等頂きました。

また、伊澤ガバナー補佐の講評を頂きました後、引き続き東京ロータリークラブから贈られました金色の鐘で点鐘し、例会行事に入りました。

例会では福田ガバナーよりRIの説明や地区目標等を具体的にかつ、多岐にわたり有意義なお話としてお聞かせ頂きました。また、地区大会や記念ゴルフ大会、新会員合宿セミナーに多数の会員の参加を要請されておられました。福田ガバナーのお話も時間が短くなり、大変恐縮しておりますが有意義な例会となりました。

例会終了後、福田ガバナーを中心に記念撮影を行いガバナー公式訪問の終了となりました。皆様誠にありがとうございました。



会長・幹事懇談会



会員との記念撮影

江差ロータリークラブ

7/23 火

7月23日(火)、福田武男ガバナー、第11グループ成田豊ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、会長・幹事懇談会、クラブ協議会が開催され、田畑裕土会長より当クラブの活動と近況を報告させて頂きました。ガバナーからは、「江差RCは歴史のあるクラブであり、成長のためにはそれぞれに応じた独自の特色ある取り組みが必要」とのアドバイスを頂き、今年度の活動に向け一層の力が入りました。

12時30分からの例会では、福田ガバナーからロータリー活動についてもっと理解を深めていくことの必要性や、「ガバナー月信」による情報発信、今年度の重要な取り組み事項について丁寧にお話を頂きました。

会員メンバーとは、前夜に懇親の場を設けていたこともあり、既に打ち解けており、和やかな雰囲気での懇談となり、今後予定されている「地区大会」、「新会員合宿セミナー」の開催内容等について意見を交わすことが出来ました。

例会後、当クラブが48年間にわたって毎年取り組んできた植樹活動により開設した「ロータリーの森」を見学して頂き、栗の木をはじめ、桜・ツツジ等の樹木整備や伐採等の管理方法について耳を傾けておられました。お忙しい中、福田ガバナー、成田ガバナー補佐におかれましては、当クラブへの公式訪問ありがとうございました。



① 記念集合写真



② クラブ協議会



③ 「ロータリーの森」視察

函館東ロータリークラブ

9/17 火

9月17日(火)、福田武男ガバナー、第11グループ成田豊ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会を行い、引き続きクラブ協議会が行われ、2019～2020年度のRIテーマ「ロータリーの

新しい戦略計画」について、特に、マローニー会長の強調事項はじめ、ロータリーの目的を詳しく説明頂きました。

また福田ガバナーは例会で会員増強について、ロータリーの活躍を広めて行くことが会員増強に繋がり、職業奉仕については職業奉仕の精神がロータリーであり、ロータリーでは、奉仕の道を進めばかなえられると考えられるとの講話を頂き、この様な事を私達は例会で学ぶことが出来ると説かれました。

また福田ガバナーは、「ガバナー月信に「子ども食堂」の事をぜひ掲載したいと思いますので写真や資料を送って下さい」と締められました。



福田ガバナーを迎えての公式訪問

函館ロータリークラブ

9/19 木

9月19日(木)、福田武男ガバナー、第10グループ水野建ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

10時から会長・幹事懇談会が行われ、当クラブ岩塚晃一会長からクラブの歴史や事業、現状報告、会員増強について説明し、福田ガバナーから現状に対する考えや会員増強の対策についてのお話を伺いました。

11時からはクラブ協議会を開催して、5大奉仕委員長から活動方針・活動計画を発表させて頂き、福田ガバナーからは職業奉仕についてお話がありました。

12時30分、日本ロータリー100周年記念の鐘の点鐘で第4162回例会が開催され、福田ガバナー、水野ガバナー補佐にご出席いただきました。福田ガバナーの卓話ではロータリーの目的や国際ロータリーが取り組んでいるSDGs(持続可能な開発目標)についてお話がありました。これらのお話が印象的で、後の例会で岩塚会長が改めて取り上げて会員と共有することができました。

最後に、クラブ訪問を頂きました福田ガバナー、水野ガバナー補佐には3時間を超える会議等にご出席を賜り、貴重なお話を頂きましたことに心より感謝申し上げます。



函館ロータリー第2510地区福田武男ガバナー公式訪問記念 2019年9月19日 函館ロータリークラブ

千歳ロータリークラブ

11/21 木

2019年11月21日(木)福田武男ガバナー、第7グループ田口廣ガバナー補佐をお迎えしての70クラブ最後の公式訪問が開催されました。

10時からの会長・幹事懇談会では、藤川俊一会長よりクラブ紹介、継続事業、会員増強などについての説明をさせて頂きました。その後、福田ガバナーより訪問先で印象に残ったクラブの紹介、特に北斗RCで行われている自衛隊、消防との事業の紹介があり、千歳にも陸上自衛隊2つ、航空自衛隊1つある中で、千歳RCも地域に根差した事業を模索し、また、例会のあり方、会員増強、衛星クラブの立ち上げについてご指導頂きました。

11時からのクラブ協議会では、今年度の活動について各委員長から発表があり、福田ガバナーへの質問に関しては、ロータアクトの年齢制限(30歳)がなくなる旨の説明があり、これにより今後アクトの活動、役目はどのようになるのかなど動向を注視したいとの事でした。

例会では、東京RC創立100周年を記念して作製された日本ロータリー100周年記念を祝う鐘の点鐘で始まり、地区大会で表彰された各賞を福田ガバナーより伝達されました。卓話では、特に衛星クラブについて一クラブが立ち上げるのではなく近隣のクラブと合同で立ち上げてはどうだろうか?などこれからのロータリークラブについて、ロータリーの奉仕を通じてみんなで手を取り合い、若者や新会員を支援し、未来を築いて行くことを強調されました。福田ガバナーは無事に70クラブの公式訪問を終え、ほっとされたご様子でした。福田ガバナー、田口ガバナー補佐、長い期間にわたりお疲れ様でした。



① クラブ協議会



② 福田武男ガバナーを迎えて記念集合写真

『ロータリーの本』 No.9

『ロータリー問答』

宮脇 富 (みやわき あつし) 著

ロータリーの本の紹介をさせていただいて半年以上が経過しました。紹介しました本の中に、他の書籍を紹介しているものがあり、興味を引く場合があります。以前にご紹介しました笹部誠著の「ロータリーあれこれ」の序文で鱸正太郎パストガバナーが一行目で「笹部君の<ロータリーあれこれ>は宮脇富先生の<ロータリー問答>に匹敵すると思っている」と書いています。このように書かれると<ロータリー問答>とは何だろうか、とってしまったのですが調べたところ宮脇氏は札幌RCや帯広RCにも所属していたことがあり、第2510地区にも縁の深い方だということがわかりました。

東京RCに移られてからも「ロータリーの友」編集委員長、文献委員長、「日本ロータリー史」編集委員長などを務められました。また本職は大学教授でウィキペディアによると、「世界初の乳牛用搾乳機の実用化に成功した。また、コンデンスミルク開発に携わったほか、日本での酪農機械化・農業経営効率化に功績を残した」とのことで、北海道産業にも大きな足跡を残し、北海道大学農学部の教授を経て、帯広畜産大学の初代学長も務めた方です。

書籍としての「ロータリー問答」自体は、宮脇氏が10年にわたって「ロータリーの友」に「定款・細則」の解説を「Q&A」方式で連載されたものを一冊の

本にまとめたものであり、400頁を超える大著のようです。1960年代に刊行されたようですが、当地区の文献資料室には所蔵はありませんでした。ですが宮脇氏の著作についてはロータリー文庫の方に多くの文献が所蔵されており一部はPDF化もされています。現在、宮脇氏の資料としてアップロードされている「ロータリー問答」は、1963年から1968年までの間に「ロータリーの友」に掲載されたロータリーに関する様々な質問に対する回答集です。

宮脇氏は1968年に亡くなられていますので亡くなる直前までこの「ロータリー回答」の執筆作業を行っていたこととなります。今から50年以上前ということになりますが、今読んでも、古さを感じさせない明快な回答に驚かされます。また当時の会員資格や職業分類のロータリーとしての考え方を知ることができ、ロータリーの歴史を知るうえでも面白い読み物となっています。ご興味のある方はロータリー文庫よりダウンロードしてみてください。ロータリー文庫はコピーサービスもありますので、パソコンは苦手という方はそちらを利用いただければと思います。

地区文献資料室

委員長 石川 信行(札幌手稲RC)

2019-2020年度 米山奨学生ご紹介

日本と中国の交流に貢献を！

李 雯 (リ ウェン)

(中国)

北海道大学 (函館 RC)

私の故郷は中国福建省です。福建省はウーロン茶の産地で、三方を山に囲まれ、残りの一方は海に面しています。海の向こうは台湾です。私の故郷は福建省の中でも山の近くにあって、とてもきれいで、客家という他とは違う文化があって、私達だけの言葉があります。一番有名な観光地は土楼で、厚い土壁と木の骨格でできた3階から5階建ての丸い建物です。12世紀頃に建てられたものもあり、80家族がその中で生活している大きなものもあります。私の故郷の食べ物はとてもおいしいです。でも、他の場所では食べられないものも多いです。例えば、イモのでんぷんで作った皮の餃子や豆腐干という豆腐を干した食べ物などがあり、毎年中国の春節には、家族がみんな帰省してとてもにぎやかです。日本人の友達が私の故郷に来てくれたら、日本とはとても違う文化を感じてもらえることができると思います。

私は、2016年に北海道大学水産学部(函館)で1年間交換留学しました。その後、日本で博士の学位を取得しようと、2017年に再度留学しました。現在は北海道大学水産科学院博士課程の3年生で、カスベの加工工程で出る廃棄物利用の研究をしています。カスベの鱈は北海道でとても人気のある食べ物です。その加工では鱈以外の部位は廃棄されます。主

に廃棄されるのは軟骨で、軟骨にはコラーゲンやコンドロイチン硫酸が豊富に含まれています。これらを利用できれば、カスベに大きな付加価値をつけることができます。そこで私はカスベ由来のコンドロイチン硫酸とコラーゲンペプチドの抗肥満活性などを調べ、将来、健康食品などの開発につなげられるよう研究しています。

私は、常に何か仕事をしているのが好きですから、研究はもちろんのこと、その他にも色々なことをしています。趣味は、読書、水泳などで、できるだけ、たくさんの人と交流を持ちたいと思っています。函館ではアルバイトもしています。函館の観光名所である函館山で中国人向けの観光案内です。この仕事は、中国の人達に日本や函館のことを理解してもらえるようお手伝いできるので、とても嬉しいです。

将来は、企業の研究開発の仕事に就きたいと思っています。大学院で得た知識と技術を活かし、企業に入ってからでも努力して、水産物由来廃棄物を製品化し、人の健康に貢献したいです。また、貧しい学生を助けるなどボランティア活動に参加し、人の助けになりたいと思います。今後も、日本と中国の交流に貢献できるよう努力したいです。



地区米山記念奨学会・学友委員会
委員長 青木 貞康(札幌はまなすRC)

新会員のご紹介

(敬称略)

第1グループ



深川RC
伊東由紀夫
12月3日入会
学校歯科医



深川RC
寺島 康宏
12月3日入会
ホテル・飲食



留萌RC
松本 光浩
3月2日入会
電気流通

第3グループ



江別西RC
石川 生三
1月1日入会
土木工事業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



第1グループ 深川RC
寺岡 義人 さん 2020年1月22日ご逝去 (享年70歳)

【ロータリー歴】 1992年1月14日 入会
2006-2007年度 クラブ会長
【表 彰】 ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(2回)



第9グループ 伊達RC
小野寺隆之 さん 2020年2月18日ご逝去 (享年80歳)

【ロータリー歴】 1982年8月 入会
2001-2002年度 幹事
2005-2006年度 クラブ会長
【表 彰】 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回目)
米山功労者

ポール・ハリス語録 No.9

ある晩、私は同業の友人に連れられて、郊外の彼の家を訪れました。夕食後、近所を散歩していると友人は、店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのです。これを見て私は、ニューヨークの私の村を思い出しました。そのとき浮かんだ考えは、どうにかしてこの大きなシカゴで、さまざまな職業から一人ずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見を広く話し合えるような人を選び出して、親睦を育めないものだろうか、ということでした。こういう親睦は、必ず互いに助け合うことにつながります。

My Road to Rotary

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌RC	田中 伸哉	会員	(1回)	1月30日	岩内RC	野澤 幸平	会員	(3回)	1月 6日
札幌RC	富岡 俊介	会員	(1回)	1月30日					
札幌RC	横井 久	会員	(2回)	1月30日	米山功労クラブ				
札幌西RC	石丸修太郎	会員	(8回)	1月21日	札幌西RC			(28回)	1月21日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

岩見沢RC	江本 勝典	会員	(レベル1)	1月15日	白老RC	清水 尚昭	会員	(1回)	1月24日
函館五稜郭RC	石坂 仁	会員	(レベル1)	1月30日	白老RC	藤田 英雄	会員	(2回)	1月24日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC	江本 勝典	会員	(8回)	1月15日	白老RC	笠井 博輝	会員	(2回)	1月24日
札幌RC	中田 隆博	会員	(1回)	1月31日	白老RC	鈴木 琢磨	会員	(2回)	1月24日
札幌RC	加森 公人	会員	(3回)	1月31日	白老RC	谷島 純平	会員	(2回)	1月24日
札幌RC	横井 久	会員	(3回)	1月31日	ポール・ハリス・フェロー				
室蘭北RC	赤崎 幸三	会員	(1回)	1月31日	当別RC	中村 昌人	会員		1月30日
室蘭北RC	中田 孔幸	会員	(1回)	1月31日	森RC	平山 博	会員		1月15日
					森RC	武蔵 和正	会員		1月15日

文庫通信 (381号)

現在ロータリー文庫は電子図書館を目指し、資料のデジタル化を推進しています。これまで著作権、個人情報等の関係で「公開」を控えていましたが、資料の収集、保管だけでなく、会員の皆様の一層の便宜を図るため、また、ご期待に沿うべく、7月1日よりID、パスワードを設定し、資料を公開することに決定しました。今回は2014年以来、精力的にデジタル化してきた資料の一部をご紹介します。



2020年2月 文庫デジタル化資料より

書名	著者/所属クラブ	発行年	頁	※
ロータリー理解推進月間に因んで (例会スピーチ)	増田房二/京都山科RC D.265 PDG	[2000]	7p	※
回首原点-ロータリーの心を尋ねて (その7)	佐古亮尊/大村北RC D.2740 PDG	[2011]	224p	※
新ロータリーを語ろう	久野 薫/神戸東RC D.2680 PDG	[2015]	132p	※
夢を語り、現在 (いま) を刷新 (ガバナー月信ロータリーコラム総集編)	刀根莊兵衛/敦賀RC D.2650 PDG	[2017]	67p	※
ロータリーの心をたずねて	富田英壽/甘木RC D.2700 PDG	[2017]	104p	※
ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案	黒田正宏/八戸南RC D.2830 PDG 元RI理事	[2017]	71p	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol. 239

2020年2月14日
発行

1. 新型コロナウイルスについて

中国・湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染が拡大しています。当会では1月29日、本年度の米山奨学生に宛てた注意喚起をホームページに掲載するとともに、メールで同内容を配信し、正確な情報の確認と感染拡大を防ぐための注意を呼びかけました。また、旧正月を母国で過ごすためにすでに中国に一時帰国している奨学生や、今後の中国への出国届が出ている奨学生にも直接、あるいは世話クラブを通じて状況を確認しています。

「故郷の村の移動制限により動けない」、「日本へのフライトがキャンセルになり、いつ戻れるか見通しが立たない」など、現地で足止めされている奨学生からの報告も入っており、影響の長期化も懸念されます。2月13日には、湖北省に続いて、浙江省に滞在した外国人の入国拒否が始まるなど、本件をめぐる日本の状況も刻々と変化しています。当会では今後も情報収集に務め、地区と連携して、必要な対策を検討してまいります。

2. 上海米山学友会の支援活動と総会

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、上海米山学友会では会員から寄せられた義援金をもとに、相次いで支援活動を展開しています。まず1月25日には、N99型マスクを武漢協和病院へ寄贈。つづいて27



日には、学友のついでに学友会名を記載した支援物資協力者を得て、次亜塩素酸消毒薬1トンを湖北省の2つの施設へ寄贈しました。28日には、日本製医療用マスクを購入し、湖北省の3病院へ送りました。このほか、倉敷RCおよび徳島RCから支援の打診を受け、中国国内で現状不足している物資や、支援を待っている病院を紹介するなど、日本からの支援の橋渡しも行っています。

上海を拠点とする学友たちにも新型コロナウイルス対策で仕事への影響が出ていますが、焦徳思会長（2000-02/伊丹昆陽池RC）

は、「どんなに忙しくても対応します。日本のロータリアンからの温かい気持ちがありがたい」と、話しています。

また、同学友会は1月11日（土）に上海市内で総会を開催し、学友49人をはじめとする計63人が参加。日本からは、齋藤直美理事長と、第2750地区米山奨学委員長の澤田尚史氏ご夫妻が参加しました。総会では、2019年度の学友会活動や会員数、収支状況が報告され、学友会へ貢献した5人が表彰されました。



当会HPの「奨学生・学友の窓口」ログイン方法を変更

2020年1月20日から、米山奨学生・学友が自分の住所などを更新したり、各種申請を行うページ「奨学生・学友の窓口」にログインの際、従来の「奨学生 No.」に加え、本人が設定する「パスワード」が必要となりました。

3月に開催される海外米山学友会総会

◆ミヤマー◆ 2020年3月21日（土）16:30～19:30/会場：Sein Lan So Pyay Garden/
申込み：myanmargakuyu@gmail.com（締切2月15日）



新しいロータリーの姿を求めて

2019年は3年ごとに開催される規定審議会の年でした。規定審議会はロータリーの組織規定であるRI定款、RI細則と標準ロータリークラブ定款の改正を審議する場です。

2019年の規定審議会での最大のテーマはローターアクトのRI加盟の件でした。一旦否決されながらもRI理事会は翌日再審議の動議を提出し、これが認められた結果、あらためて議論の末、僅差で採択されました。この審議経過と結果は、この案件が賛成・反対の双方の立場から多くの議論を巻き起こす難しい問題であったということと、それでも何とかこれを成立させたいというRI理事会の強い意思を示しています。

歴史をひもとけば、このように規定審議会の場で激しい議論を巻き起こした案件として、女性の入会資格を認める件があります。1989年にシンガポールで開催された規定審議会でのこの提案は採択されました。過去5回の規定審議会でも否決されながら、6回目ですぐに採択されたのです。当時の状況を伝える文書によれば、規定審議会の場で、発言を求める代表議員がマイクの前に列をなし、賛成反対のそれぞれの立場から1時間半にもわたる激しい議論が繰り返されたこととあります。この案件の審議の状況は地元シンガポールでも注目され、テレビのニュースで取り上げられたそうですし、審議会の傍聴席には多数の女性が陣取り、議論のやりとりで歓声が上がった場面もあったとのこと。このときの議論は、単に女性がロータリーにふさわしいかどうかというような情緒的な議論にとどまらず、これからのロータリーが女性の存在を無視して成り立つのか、ロータリーとしての発展はあるのかどうかということに焦点をあてて激しい論戦が繰り返されたこととあります。

今回のローターアクトクラブのRI加盟問題もロータリーに大きな変革をもたらすものであることは確実です。これまでローターアクトはRIの青少年奉仕部門のプログラムの一つであり、ロータリークラブが提唱し、指導し、時には擁護するものでした。ローターアクトは将来のロータリアンとして位置づけられていたといえるでしょう。しかし今回の規定審議会でのローターアクトクラブのRI加盟が認められた結果、ローターアクトたちは、次世代のリーダーであるのみならず、今現在、私たちと共に世界を変える行動人の仲間になったというべきでしょう。このことはロータリークラブ、ローターアクトクラブの双方の意識に大きな転換を迫るものと思います。その後の10月理事会でローターアクトの年齢の上限が撤廃されたこともあり、ローターアクトクラブは今や真の自立に向けて、その活動全般において自主的な取り組みをしなくてはなりません。そのようなことのお手伝いをするのも、ロータリーの地域コーディネーターの役割だと考えています。

第3地域ロータリーコーディネーター補佐 滝澤 功治 (神戸須磨RC)

公共イメージ向上とコミュニケーション計画について

皆様の地区においてコミュニケーション計画は今期順調に進んでいますか。コミュニケーションの相手はガバナー補佐、地区委員会、クラブ、ロータリアン、シニアリーダーなどであったり、メディアやボランティア団体、または、入会候補者や地域社会の方々など様々な方がおられます。このような方々にどのような方法が伝わりやすいのでしょうか。まずは、伝える目的と内容はどのようなものか、誰から誰に、緊急性があるのか、いつ伝えるのかなど考えておくことは必要だと思います。地区内のコミュニケーションを強化することによって、クラブを活性化、目標を達成し、会員基盤の成長を促し、ロータリー財団の支援を拡大することによって、公共イメージの向上につながることは重要なことです。コミュニケーション計画において地区チーム同士の効果的なコミュニケーションは不可欠です。地区とクラブとのつながりを行う最も重要な役割を担うのはガバナー補佐です。クラブの活動をサポートするのは地区委員会です。ガバナー補佐と地区委員会が密に連携を取り地区とクラブが連絡を図ることによって戦略計画の推進ができるものと考えています。

地区チーム研修セミナーなどで地区のコミュニケーション計画を確認し、この計画に沿ってコミュニケーションを行っていくことが重要ではないでしょうか。コミュニケーション手段としては、地区ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ブログ、ライン、そのほかのソーシャルメディアなどやニュースレター、そしてEメールなどIT、デジタル化、ネットワークの拡大などによってロータリーの変化がスピードを増しています。

第3地域の公共イメージ向上に関するアンケート調査で、クラブ広報戦略について、地区公共イメージ委員会ではクラブのプロジェクトや活動を地域社会の人びとに伝えることで、クラブの公共イメージを効果的に形づくっていると思っているもの、についての質問では、イベント行事、広報活動、ソーシャルメディア、クラブのウェブサイト、メディア対応、マーケティングの順でした。また、「世界・地域を変える行動人」のストーリーを伝える方法のコミュニケーション計画を立案していますか?の質問にはほとんどのクラブが立案していないようでした。この回答の結果からもコミュニケーション計画立案について検討していく必要性を感じました。

公共イメージと認識の向上を図る上でもコミュニケーション計画には重要な役割があります。ロータリーの「世界を変える行動人」公共イメージキャンペーンは「ロータリーとは何か」と聞かれたら、分かり易く、シンプルに答えるためのヒントとなるのが、ロータリーの3つのエッセンス(リーダーのネットワークへ、アイデアを広げる、行動する)です。これらのエッセンスを自分の言葉で伝えてみてはどうでしょうか。「ロータリアンとはどのような人びとか」と聞かれたら、専門的スキルと知識を社会や世界のために生かしたいと考えている人です。「ロータリーの活動はどのような成果をもたらしているのか」と聞かれたら、ポリオ根絶の中心的活動を行い99.9%まで達成し、あと少しのところまで来ています。「ロータリーは他団体とどう違うのか」と聞かれたら、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップの中核的価値観を兼ね備えた団体です。など、ロータリーのストーリーを様々な形を通じて、「行動人」としてのロータリー会員の姿にスポットを当てることでロータリーに対する認識と理解を高めることを目的としています。「世界を変える行動人」の広告はMy ROTARYのブランドリソースセンターからダウンロード可能な資料として利用できます。他にも、一般の人たちの注目を集め、ロータリーに関心を持ってもらうには、行動人としてのロータリアンを生き生きと映し出す写真が必要です。これらのリソースもブランドリソースセンターから利用できます。このキャンペーンで最も重要なことはクラブ自身の「世界を変える行動人」のストーリーを伝えることです。そして、『『ボイス』とビジュアルアイデンティティのガイド』も、クラブのストーリーを伝える参考となります。コミュニケーション計画においては、一方通行にならないように地区からもアイデアや成功例、懸案事項を連絡してください。地区からの情報は、他の地区の役に立つだけでなく、ロータリーのシニアリーダーや職員にも参考になります。今後ともよろしくお願いたします。

第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター 山下 皓三 (鹿児島西RC)

地区カレンダー（3月・4月）

3月 水と衛生月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	2020-21年度会長エレクト研修セミナー（札幌）：開催見送り
8 (日)	地区財団セミナー・米山セミナー（札幌）：開催見送り
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	第2グループIM（赤平）：延期・赤平RC創立60周年記念式典（赤平）：延期
15 (日)	RLIセミナー パートI：延期
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	春分の日
21 (土)	第4・5グループIM（札幌）：延期
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	第10・11グループIM（函館）：中止
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

4月 母子の健康月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	第7グループIM（千歳）：延期
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	地区研修・協議会：延期
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	七飯RC創立50周年記念式典：中止
19 (日)	第6グループIM（小樽）
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	ブラックタイ・パーティー（札幌）：延期
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	昭和の日
30 (木)	

註：新型コロナウイルス感染拡大により各種行事の開催自粛、日程変更、中止等があります。

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2019.7.1	2020.1.31	増減	内女性	
1	深 川	3	31	32	1	1	82.45
	羽 幌	3	43	43	0	2	67.44
	妹背牛	3	6	7	1	0	90.47
	留 萌	4	29	31	2	4	76.17
	小 計		109	113	4	7	79.13
2	赤 平	4	24	23	-1	2	71.26
	芦 別	3	30	30	0	2	73.25
	砂 川	3	40	40	0	1	91.30
	滝 川	3	92	96	4	4	72.00
	小 計		186	189	3	9	76.95
3	美 唄	3	26	24	-2	0	83.33
	江 別	4	34	38	4	1	81.61
	江 別 西	3	35	36	1	4	87.00
	岩 見 沢	4	87	93	6	0	93.47
	岩見沢東	3	17	15	-2	2	85.71
	栗 沢	3	18	18	0	1	93.50
	栗 山	3	27	26	-1	5	84.00
	当 別	3	29	29	0	0	87.36
	小 計		273	279	6	13	87.00
4	札 幌	4	127	138	11	2	91.57
	札幌はまなす	3	18	16	-2	2	73.91
	札 幌 北	3	45	47	2	5	75.63
	札幌モーニング	3	31	37	6	0	80.61
	札 幌 西	3	50	52	2	10	72.54
	札幌西北	3	33	31	-2	3	84.90
	札幌手稲	3	40	37	-3	4	92.77
	小 計		344	358	14	26	81.70
5	札 幌 東	3	121	118	-3	0	94.78
	札幌清田	3	12	11	-1	3	100.00
	札幌幌南	4	56	57	1	2	95.35
	札幌真駒内	3	24	24	0	6	100.00
	札 幌 南	3	92	92	0	2	96.09
	札幌大通公園	2	13	13	0	3	61.53
	札幌ライラック	3	19	18	-1	7	88.00
	新 札 幌	3	29	28	-1	5	86.49
小 計		366	361	-5	28	90.28	
6	岩 内	3	20	24	4	0	88.88
	倶 知 安	3	34	34	0	3	61.30
	小 樽	4	74	77	3	6	87.43
	小樽南	4	64	65	1	4	85.80
	小樽銭函	3	22	23	1	1	83.00
	蘭 越	3	8	8	0	0	95.80
	余 市	4	42	42	0	4	79.00
小 計		264	273	9	18	83.03	

会 員 1 月 増 減 数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,584人
	当月末会員数(女性)	2,641人(178人)
	増加会員数	57人
当月平均出席率		81.56%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2019.7.1	2020.1.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	74	78	4	11	84.60
	千歳セントラル	3	42	43	1	9	70.54
	恵 庭	4	52	49	-3	3	73.69
	北 広 島	2	15	15	0	0	80.00
	長 沼	1	17	17	0	3	95.00
	由 仁	2	8	8	0	1	87.50
	小 計		208	210	2	27	81.89
8	え り も	2	20	20	0	1	97.50
	三 石	3	12	12	0	0	76.66
	様 似	3	16	16	0	1	71.87
	静 内	4	69	70	1	4	87.50
	浦 河	3	27	29	2	3	75.86
	小 計		144	147	3	9	81.88
	9	伊 達	3	63	66	3	2
室 蘭		3	28	33	5	2	72.73
室 蘭 東		3	35	34	-1	3	65.70
室 蘭 北		4	49	49	0	2	75.74
登 別		4	26	29	3	1	75.86
洞 爺 湖		2	11	12	1	1	100.00
小 計			212	223	11	11	78.16
10	函 館	4	76	82	6	2	72.93
	函館亀田	3	37	38	1	4	70.27
	森	3	35	33	-2	0	78.00
	七 飯	4	12	14	2	0	78.60
	長 万 部	2	10	10	0	0	55.00
	函館セントラル	4	26	27	1	2	84.26
	小 計		196	204	8	8	73.18
11	江 差	2	10	11	1	1	77.27
	函館五稜郭	4	54	54	0	0	74.75
	函 館 東	4	42	39	-3	8	78.06
	函 館 北	3	19	20	1	0	84.74
	北 斗	4	12	12	0	0	58.30
	小 計		137	136	-1	9	74.62
12	白 老	3	30	33	3	3	62.20
	苦小牧	4	60	61	1	3	82.51
	苦小牧東	4	27	27	0	5	88.74
	苦小牧北	4	28	27	-1	2	98.00
	小 計		145	148	3	13	82.86
合 計			2,584	2,641	57	178	81.56

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む

職業奉仕小話

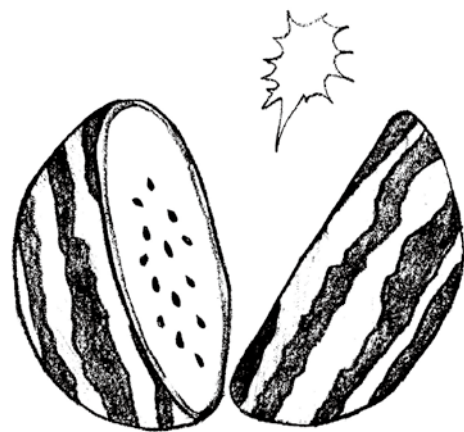
「落として割れてしまった西瓜を食べない…」

とある町の青果市場を見学したことがある。丁度、西瓜の出盛り時期で、所々に山と積まれてあった。これを移動する必要ができた場合、一つずつ投げ送るのであるが、投げる方も受け取る方も実に慣れたもので、ホイ、ホイの掛け声で巧妙かつ敏速に行われていた。ところがどうした気合の行き違いか、過って落とし、真半分に割れた。見るからにうまそうな西瓜であったが、作業員はこれを海に投げ込んで知らぬ顔で作業を続けていた。一寸不思議に思って問屋の人にこの事を話してみた。と云うのは、もともと作業員や、仲買人などは口近いものはよくつまみ食いをしたもので、荷主側もさもあることと心得ていたものである。だから破損した西瓜は当然食われるものと思ったからである。

その答えはこうであった。

「落とすなんてことは殆どないのですが、それは余程、折が悪かったものと思います。ここで働いている人達は人さんの落し物へ手をつけるような事は決してしません。昔は左様な事も時々あったようですが、今では誤って破損しても食べません。一寸勿体ないようですがそれを食べたのでは、食うために落とした様にも考えられます。痛くない腹を探られたくないし、又荷主にも相すまぬと云うのが彼らの精神です」

誠意をもって人様の荷物をお扱いするから若し過ちがあっても、それは許してもらいたいとの事であった。労働に従事している人達が、自己の職業の使命とその尊厳を自覚してグループの水準を引き上げることを互いに努力しているこの美しい姿を見た時、彼等に敬意を表せずにはいられなかった。





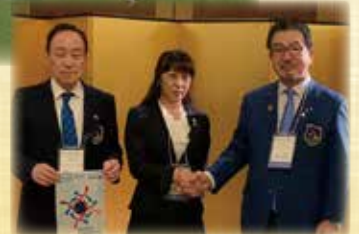
ロータリーは
世界をつなぐ



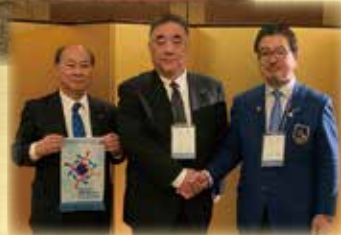
第6グループ
蘭越ロータリークラブ



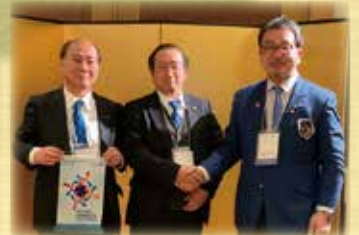
第7グループ
恵庭ロータリークラブ



第9グループ
伊達ロータリークラブ



第9グループ
室蘭ロータリークラブ



第9グループ
室蘭北ロータリークラブ



第9グループ
洞爺湖ロータリークラブ

